

## ガバナー就任に際して

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー

### 横山 守雄



ロータリーは、あなたにとって何ですか？という質問を友人やロータリアンから受けることがあります。私はいつも躊躇わず、「私は10年間の会社勤めのあと、若い時に小さな鉄鋼貿易会社を始めましたが、自分の職業をこれまで長年にわたり何とか無事に続けてこられたのは、ロータリーからいろいろな事を学び、ロータリー精神を自分の仕事に生かすことに努めてきたからではないかと思っています。ロータリーに出会ったことに感謝しています。」とその様にお答えしております。

私はガバナー就任に際し、「ロータリアンは職業倫理の向上を目指し、四つのテストを職場で、家庭で、ロータリークラブで、そして社会で実践しましょう」ということを第一の方針として掲げましたのは、職業人として、また社会人として、ロータリーの心を最も大事にしたいと思ったからです。

近年、企業のトップリーダーは法令順守、コンプライアンスの必要性を盛んに強調していますが、それでも企業や組織体の不祥事が後を絶ちません。その様な時代

であるだけに以前にも増してロータリーが必要とされているのではないのでしょうか。ロータリアンが地域社会や国際社会において、職業人としてよき手本を示すことによって、この世の中は少しでもよいものになって行くものと思います。

私達ロータリアンは「四つのテスト」があることを頭ではよく理解しております。しかし各人がその金科玉条を毎日の仕事上や対人関係で実践しているか、ということになりますと、どうしても自己中心の考えで動きがちです。私達はせっかくロータリーという人生道場に入門させて頂く機会を得たのですから、ロータリーの奉仕の理想という心の原点に戻り、人生を高める努力をいつまでも続けて行きたいものです。

私は第二の方針として、「クラブ発展の将来計画を立て、その実行に着手しましょう」と提唱致しました。私は2003-04年度のガバナー補佐として各クラブを巡回した経験から、またその後の各種の調査結果を踏まえ、大多数のクラブさんが会員減少、クラブ活動の低下という問題に

頭を痛めていらっしゃることを痛感しております。

RIも同様な危機感を抱き、クラブ活性化の方策としてCLPを各クラブに推奨することになりましたが、私は、先ず各クラブのリーダーの皆様、「自分たちのクラブを、特色ある、そして活力のある組織体に変えていくのだ」、という強い意欲を持って頂くことが先決ではないかと思っています。そして現在のクラブの問題点をよく検討し、そして自分達のクラブの特徴を独自ブランド化出来る様な将来の発展計画を立て、その目標を一つずつクリアして行くことがCLP導入とクラブ活性化にあたって大事なことではないかと思えます。

私は第三の方針として、「地区活動のスリム化に取り組ましよう」ということを掲げました。その根拠は1995年以来、当地区では会員数と地区収入が年々減少し、この13年間にいずれも約30%減少していることです。しかしながら地区活動はどうしても、Build and Buildの連続になりがちで、過去何年間も積み上げてきた活動を、現在の地区収入に見合った水準へと改めていく場合には、いろいろな抵抗と困難を伴うもので

す。ロータリーには、政府や地方自治体のように国債や地方債を発行して赤字予算を埋め合わせ、そのつけは先送りするという手立てはありません。また安易な会費値上げも出来ません。地区活動の適正化にあたっては、先ず関係者各位のご理解とご協力がどうしても必要です。

地区内4,000名のロータリアンの皆様は、それぞれロータリーに対するいろいろな夢や目標をお持ちです。皆様のクラブの活性化のために、D.K.Lee RI会長が提唱されております、「子供たちに光があたる」奉仕プロジェクトや、「RI会長賞プログラム」に是非チャレンジしてください。「皆様の夢や目標が一つでも、二つでもかたちに」になりましたら、それはクラブにとっても、地区全体にとっても、そして国際ロータリー全体にとっても大変大きな力になります。

ロータリアンの皆様が「他への思いやりの心、他への助け合いの心」というロ



ータリーの心を尊び、皆様の家庭や、職場、クラブ、社会が少しでもよりよいものになりますよう、そしてまた2008-09年度が前進のある、意義ある年になりますよう心から願っております。

# ガバナープロフィール

国際ロータリー第2660地区  
2008～09年度ガバナー

## 横山 守雄 (よこやま もりお)

生年月日 1938年2月27日

学歴 慶応義塾大学法学部卒業

職歴 1960年：川崎製鉄（株）（現JFEスチール）入社

1963年： 〃 東京鉄鋼輸出部

1965年： 〃 米国ニューヨーク事務所駐在員

1967年： 〃 米国ロスアンゼルス事務所駐在員

1970年：川崎製鉄（株）退社

鉄鋼貿易商社 大成通商（株）創立、取締役社長就任、現在に至る

ロータリー歴 大阪中央RC 職業分類－貿易商社

1984年 〃 大阪駅RC創立入会（後に大阪中央RCへ名称変更）

1989－90年度：プログラム委員長

1990－91年度：国際奉仕委員長

1991－92年度：世界社会奉仕委員長

1993－94年度：幹事

1994－95年度：会計

1995－96年度：副会長・クラブ奉仕委員長

1998－99年度：会長

2000－01年度：理事・規定情報委員長

2003－04年度：理事・創立20周年行事実行委員長

2004－05年度：理事・親睦友好委員長

RI第2660地区

1992－96年度：世界社会奉仕委員会 委員

1996－97年度： 〃 委員会 副委員長

1997－98年度： 〃 委員会 委員長

2002－03年度：ガバナー補佐

2003－04年度：ロータリー財団委員会 副委員長

2004－06年度： 〃 委員会 委員長

2006－07年度：ガバナー・ノミネー

2007－08年度：ガバナー・エレクト

その他

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター、米山功労者（マルチプル）